





流星 第26号(OB 会誌13号)

題字 河村先生(元部長)

イラスト 伊東(44)

目次

| | | | |
|------------------------------------|---------|----------|----|
| 巻頭言 | 部顧問 | 平木 准教授 | 2 |
| 所感 | 会長 | 木村(36) | 3 |
| 新主将挨拶 | 新主将 | 吉岡(2回生) | 4 |
| 新 OB 会連絡員挨拶 | | 平田(2回生) | 4 |
| 新入部員挨拶 | | | 4 |
| 自動車部 2014 年度活動報告、決算報告、2015 年度活動計画 | | | 5 |
| 活動報告1;2014 年第 52 回 KIT Night ラリー詳細 | ラリー委員長 | 福田(2 回生) | 8 |
| 活動報告2;エコドライブチャンピオンシップ 2014 の報告 | | 日野(3 年) | 9 |
| OB 会 26 年度活動、交流会報告、27 年度活動計画 | 事務局 | 中西(50) | 10 |
| OB 会 26 年度会計報告、27年度予算 | 会計 | 武地(51) | 11 |
| OB 会 会計監査 | 会計監査 | 田中(45) | 11 |
| OB 会 会費、部活動援助費、OB 会カンパ振り込み状況 | | | 13 |
| 特別企画 ;第 4 回現役・OB 会交流会開催 | 現役交流担当 | 山下(H1) | 14 |
| 現役支援・交流サポート活動隊について | 同上 | | 15 |
| 自動車部現役・OB 交流会への出席 | 中京支部副幹事 | 河野(49) | 16 |
| 会員名簿、物故者名簿 | | | 18 |
| 編集後記 | | | 20 |

「光と影」



部顧問 平木 准教授

私の研究室での話である。この10月から実験室の鍵を自分の手元に置いて管理することにした。これまでは、鍵は学生の居室に置いておき、学生達が必要なときに自由に使うことができた。しかし現在は、使用のたびに私の部屋に鍵を借りに来なければならない。そして、その日の18時までに掃除を終えた上で、返却時には私のチェックを受けなければならない。なぜこのような手続きに変えたかということ、もちろん学生達の使い方のあまりの酷さに耐えかねたからである。工場などの製作現場では当たり前なことであろうが、研究室には自分以外のスタッフがいないので、そこまで手が回らないからと理由をつけていたし、彼らの自主性に期待していた面もあった。実際、3年位前までなら学生による自主管理でもここまで酷いと感じることはほとんどなかった。だが、この数年で劇的に変わってしまった。とてもではないが任せられない。今のままを続けるなら、いずれ誰かが怪我をする。一度でもそうなってしまったら、皆が不幸になる。怪我をした本人は不幸になるし、怪我の要因を作った人も、そしてその状況を放置した人達もまた不幸になる。不幸になってからでは遅いので、一念発起して自分で管理を行うことにした。

そうしてわかったことは、工具の正しい使い方がわかっていないのはもちろんのこと、工具の名前もろくに知らない学生が多いことだ。言うておくと、これは機械工学を学ぶ4年生以上の学生に関して、である。まあ、それ自体は不思議ではない。なぜなら、授業で教わることがないからだ。事実、私もそうだった。だが、「工学部なのに、工具の使い方も知らないなんて情けない」とは考えないようだ。私自身はそう感じたから、大学院生のときには色々な使い方を学べる環境(現場)に自分を置くように努めた。自分の「無知」を知って反省するからこそ人は学ぶ意欲を持つものだろう。その点、自動車部の学生

は自らそのような環境に身を置いているので、頼もしい限りである(ただし、私は彼らの工具裁きを見ていないので、見間違いかもしれない)。ただ、イマドキの学生さんは「無知」であることを指摘すると、ムキになってそれを否定する傾向があるように感じる。若くて経験が少ないのだから無知なのは当然のことなのだが、「愚かである」と言われているように感じるのだろう。昨今受け手の取り方次第で何でもハラメントになり得るが、国語力の不足のせいではないだろうか。

学生達の就職活動の際、エントリーシートの添削を引き受けることが少なからずあるが、よく目にするのは「リーダーシップがある」とか「コミュニケーション能力が高い」という表現である。本当にそうなら何ら問題ないが、明らかにそうとは見えない学生までもがそのような表現を使っている。彼らが参考にした例がそうなっているからだろうとは思いますが、もしかしたら、自分という人間を的確に表現する言葉にアレンジし直す力がないのかもしれない。今年を象徴するフレーズに「ありのままの自分」というものがあるが、ありのままの自分は「無知」であり、それを的確に表現したら「どうみても魅力的な人間とは思えない」ものになってしまうだろう。まさに影である。だから、それから目をそらして、輝くような光を放つ表現に飛びつくのだろう。

実験室の話題に戻る。使用に当たり、学生達に一つの条件を課することにした。それは、「使用した日には、ほかの人のために役立つことを何か一つ行うこと」である。「自分さえ使えればそれでよい」という自己中心的な考え方から転換させるため、「自分以外の人立場に立ってものを見る」訓練をさせたい一心からである。「他人のために何かをする」という影の働きが、いずれ彼らの放つ光を際立たせるに違いないからである。さて、効果のほどはいかに？ 了

摺り合わせについて



自動車部 OB 会会長 木村(36)

皆さんは「摺り合わせ」という言葉から何をイメージしますか。普通にはある課題への事前調整、根回しということかも知れませんが、私にとっては、学生時代の自動車部車庫でのエンジンオーバーホール時の、バルブやメタルの摺り合わせの事が真っ先に思い出されます。その頃、唯一車検のある車は、トヨタ4トントラック「彗星号」でした。老朽化のため、車検は6か月毎でエンジンの分解修理も度々必要でした。バルブのカーボン落としとコンパウンドを付けてシートとの摺り合わせ、クランクシャフト軸受のバビットメタルの機械加工後の摺り合わせは、先輩から特に厳しく指導されたものでした。後者は赤ペン(光明丹)をシャフトに塗り組立、回転し、メタルに斑点状の均一な当たりが出るまで繰り返しスクレーパーで削って調整しました。完了の判定は中々微妙で、当たりが不十分だと簡単に焼損しメタルの再鋳込みとなるため、OKの決断は勇気の要ることでした。

この経験がのちに、私の会社業務の中で二度の大ピンチを招きながら、何とか切り抜けられた要因になるとは、この頃は考えてもいませんでした。卒業後、縁あって小野田セメントに入社し、主としてエンジニアリング部門に配属され、中でも中心施設の焼成部門を担当してきました。焼成部門の主機はキルンといい、日産 5,000 トンのものでは回転体重量 2,500 トン、4 支点、8 ローラで 100 分の 3.5 の勾配を付けて支持し、回転数は 1.5-2RPM、キルン内面温度は 1,450°C で数か月連続運転します。この支持メタルは LBC (鉛青銅) の半割プレーンメタルで、キルンの熱変形に対応出来るよう球面座に乗せてあります。更に、このメタルは大きいものでは径 0.9M、幅 1.2M あり、重荷重、低速、高温、熱変形による偏荷重、勾配によるスラスト荷重を受けながら、セルフバケット方式の掛け油潤滑のみという過酷な条件で運転され、しばしば焼損事故を起こしてきました。

昭和 46 年、三重県の工場で、新設した設備が操業開始直後、4 個のメタルが一気に焼損し運転不能になりました。大阪万博の頃で出荷は旺盛、

在庫は減少し正にピンチでした。幸い原因が判明し、メタルを吹き直し摺り合わせの段階になりましたが、誰も一歩引いていて、結局、私が摺り合わせ現場で直接指示する役目を引き受けることになりました。この時、以前の自動車部車庫での経験による幾らかの自信だけを基に、職人と一丸となって、何とかこの危機を切り抜けることが出来たのでした。

2 度目のピンチは平成 6 年、アメリカで買収したセメント会社のアリゾナ州の工場でした。技術担当だった私は、旺盛な出荷に対応することになり、この工場の生産能力を 30% アップさせるため、改造工事を実施しました。もちろん事前に十分な在庫を積み増して工事に入ったのですが、運転再開後キルンの支持メタル 2 個が発熱、焼損し、在庫の予備メタルに取り換えるもたちまち焼損し、全米中の予備メタルをかき集めても全て焼損し、万事休しました。原因が判らず在庫は底をつき、正に地獄の底を見た思いでした。その時従業員の一言がヒントになり原因が判明しました。今回はメタルではなく、軸受台盤に据付後溶接した為、歪みが出たことで軸受と台盤の間にガタが出来ていて、この為、運転状況によりメタルの当たりに変化が生じていたのです。1 週間、24 時間体制で台盤を現地で切削加工し、予備がないので焼損したメタルの変形を直し、ハンドグラインダーで大胆に研磨、摺り合わせしました。更に循環給油装置を設置、メタルにはサーモカップルをセットし、万全を期して運転に入りました。以来 20 年、この工場は順調に稼働し、業績に貢献しています。

この 2 つの事例に限らず、国内、マレーシア、アルジェリア、モロッコでの過酷なプロジェクトで、プロジェクトマネージャーを無事務め終えることが出来たのも、その原点は、暑い夏や冬の寒い吹きさらしの自動車部車庫で、仲間とともに、辛かったけれど一心に取り組んだ、彗星号を整備し、期日までに車検を通さなければという強い思いと、くじけない成功体験であったと、今は懐かしく思い出しています。 完

主将挨拶

責善会自動車部 第75代主将

吉岡(2回生2年)

先輩の皆様にはご清勝のこととお慶び申し上げます。私は今年、第75代主将を務めさせていただく2回生の吉岡と申します。

自動車部の部員数は現在17名で、そのうち新入部員は8名でした。昨年よりも新入部員の人数が増え、うれしく思っております。

9月21日に北九州で行われたOB交流会ではスカベンジャーラリーを通じ、OBの方々と交流し、楽しい時間を過ごさせていただきました。また新入生はその時の経験をKITナイトラリーの準備に生かすことができ、非

常にいい経験になったと思います。

自動車部のことや車のことについても何もわからないまま入部してここまでやってこられたのも先輩方の温かいご指導のおかげだと思っております。次は自分がその立場になり、後輩たちを指導し、先輩方が築いてこられた実績、教わってきた技術を伝えていくよう励んでいきます。

今後とも先輩方のご助言、ご協力をよろしく願います。

新 OB 会連絡員挨拶

平田(2回生2年)

この度、漆原さん(主将・3回生)から、OB会連絡員を引き継ぎました、2回生の平田と申します。今後「流星」や、OB会に関する自動車部の窓口は自分が担当

します。よろしく願います。

| 部員名簿 | | | | | |
|---------|-------|----|----|-------|-----------|
| | | | | | H26.11月現在 |
| 役職 | 学科・学年 | 氏名 | 役職 | 学科・学年 | 氏名 |
| 監督 | 3 | 漆原 | | 3 | 日野 |
| 主将 | 2 | 吉岡 | | 3 | 大久保 |
| ラリー委員長 | 2 | 杉谷 | | 2 | 福田 |
| 会計・学連 | 2 | 穴井 | | 2 | 小林 |
| 主務・OB担当 | 2 | 平田 | | 1 | 近藤 |
| 学連 | 2 | 渡辺 | 学連 | 1 | 近藤 |
| | 3 | 坂元 | | 1 | 桑野 |
| | 3 | 池田 | | 1 | 河本 |
| 学連 | 3 | 今門 | | | |

新入生挨拶

1. 河本(1回生1年)

自分は中学生のころから自動車や運転が好きで、高校生のころはバイクやカートに乗っていました。自動車部目的で大学に入学したも同然で、入学してすぐに自動車部に入部しました。自動車部では実際に車に触れることができ、詳しい方とお話させていただく

機会もたくさんあるので学ぶことが多いです。夏前に自分の車を購入して、今は学業と部活とバイトの三立に頑張っています。

これからは二回生になり自ら動いていけるように頑張っていきます。

2. 桑野(1回生1年)

自分は最初から車が好きだったわけではなく、中3の時にGT3(PS2)をまともにプレイできるようになって、「運転」の“深さ”や“楽しさ”を理解したのが車にハマったキッカケでした。GTを通じて車の挙動やレースの運び方を学ぶことはできます。しかし本物はやはりゲームの世界とは違うので、どこかでしっかり車について知りたいと思って入部しました。

今は自分の車を持っていないので機械をいじりたい時はiPhoneやPS3などを分解して構造を見たりして遊んでいますが、せつかく自動車部に入部したので車の構造から運転のノウハウまで幅広く学習できたらなと思います。

時には多大な迷惑をおかけすることもあると思いますが、これからよろしくお願ひします。

3. 近藤(1回生1年)

私の自動車部の入部動機は自動車競技に参戦、観戦したかったからです。自動車に興味を抱いたのは自動車好きの父と頭文字Dの影響を受けたからです。私はエボ好きで将来エボに乗ろうと考えていますが、エボのオーナーには高度な運転技術が当然求められます。なのでまず、安いMTの中古車を乗り回して基本的な運転技術を身につけたら、ワンランク上あ

たりの中古車でさらに磨きをかけたいです。そのためには、まず、バイトを頑張る、知識を蓄える、から始まり、中古車が手に入ったら、上手なドライバーの運転を参考にする、恋の浦等で練習する、というようなことを心掛けたいと思います。まだまだ知識経験不足で御迷惑をお掛けして恐縮ですが、今後ともよろしくお願ひします。

4. 近藤(1回生1年)

自分が自動車部に入部した理由は、幼い頃から自動車が好きで、大学生だからこそできることをしたいと思ったからです。

ジムカーナ等のモータースポーツに今までの観客としてだけでなく、オフィシャルとしても参加することが

できたので、次はエントラントとして参加してみたいと思っています。

また、先輩方の教えを請いながら自動車の知識も深めて行きたいです。

5. 大久保(1回生3年)

私は自動車免許を取得してから運転の楽しさを知り、自動車全般に興味を持つようになりました。九州工業大学に編入学して、この大学でしか体験できないような部活に参加したいと考えていた

私は、自動車部に入部しようとして決心しました。他の一回生より、3ヶ月弱遅く入部したため、私にとって

初めてのラリー大会であったKITナイトラリーでは、分からないことも多くありましたが、多くのことを学び、経験することができました。今後は、積極的に部活動に参加して、自動車部に貢献できるよう頑張っていこうと思います。

6. 今門(1回生3年)

自分が自動車部に入部した理由は、自分の手を動かして機械を整備してみたいと思ったからです。中でも自分の興味のある自動車を整備できるということで自動車部への入部を決めました。ある程度の車の不調は自分で整備できるぐらいの技術を身につけ

たいと思っています。自分は編入生なので活動できる期間が限られていますが、その分充実した部活動生活を送りたいと思います。

7. 日野(1回生3年)

私が自動車部に入部した一番の理由は、縦の繋がりが太いからです。入学時には既に免許を取得しており、運転技術の向上と車に関する知識を身に付けたいという思いもありましたが、自動車部はOBの方々との拘わる機会が多いと知り、人として成長できると思ったのが最大の理由です。部活動は、知識や技術を向上させるだけでなく、先輩や後輩との拘わりを通して社会勉強の場として考えています。実際、ジムカーナやラリー、また日々の活動を通して、OBの方々

と拘わる機会が多いことを肌で感じています。自動車部での活動を通して社会人として恥ずかしくない人に成長していきたいと思います。

また、高専から編入で入学したため、一回生に比べ時間が限られています。限られた時間の中でも、失敗を恐れず、積極的に活動に参加していきたいです。活動を通して少しでも多くのことを学び、思い出の詰まった充実した大学生活にしていきたいです。よろしくお願いします。

8. 小林(2回生2年)

大学生になってから友達の影響もあり車に興味を持ちました。車の競技や構造にはあまり詳しくはなく、知識を得るために入部したいと思いました。ジムカーナやドリフトをやってみたいと思っています。まだまだ車の操舵は拙く、初心者なのでこれから上達して

いきたいです。学生の中に車を持つことが出来れば、カプチーノやヴィヴィオなどの軽スポーツに乗りたいです。バイクもやっていて、サーキット走行が大好きです。よろしくお願いします。

=====

2014 年度 年間活動報告

九州工業大学責善会自動車部

- | | | |
|----|---------|---|
| 4月 | 4/7-8 | :新入生勧誘。ビデオ上映等実施 |
| | 4/19 | :体験入部(カート走行会)。新入生 6名参加。 |
| 5月 | 5/4 | :全九州ダートトライアル選手権大会(SPEED PARK 恋の浦) 団体の部 第4位/7校中 |
| | 5/17-18 | :ACK スプリングラリー(JAF 九州選手権第1戦、JMRC 九州 CH シリーズ第1戦) |
| | 5/24 | :ジムカーナ選考会兼練習会(SPEED PARK 恋の浦) |
| 6月 | 6/8 | :春季全九州学生ジムカーナ選手権大会(SPEED PARK 恋の浦) 団体の部 第5位/9校中。個人の部 第3位 穴井謙志郎 |
| | 6/27 | :新入生歓迎会 |
| 8月 | 8/25 | :全日本エコドライブチャンピオンシップ 2014(鈴鹿サーキット) 学生の部 39位/60組中 |
| 9月 | | :大学自動車部合同強化合宿(恋の浦)⇒中止 :部内旅行⇒中止 |
| | 9/21 | :OB 交流会。クイズラリー大会、懇親会併催。 |

- 10月 10/12 : 秋季全九州学生ジムカーナ選手権大会 (SPEED PARK 恋の浦)
団体の部 第9位/11校中
- 11月 11/8-9 : ACK-KIT ナイトラリー (全九州学生ラリー併催。赤村周辺)。参加台数 17台
11/22-23 : 工大祭
11/20 : 幹部交代
- 12月 : 学内マラソン大会
- 3月 : 追出しコンパ 以上

平成25年度工学部自動車部決算報告

H25.4.1～H26.3.31

| 収入 | 金額 | 支出 | 金額 |
|---------------|----|---------------|----|
| 責善会援助金 | | 大会参加費 | |
| OB会援助金※ | | 工具代 | |
| 部費 | | 部車維持費 | |
| 部員個人負担 | | 車庫設備維持費 | |
| 雑収入 | | 練習場所代 | |
| | | 雑費 | |
| | | | |
| KIT Night ラリー | | KIT Night ラリー | |
| | | 平成26年度へ繰越 | |
| 合計 | | 合計 | |

※平成25年度よりOB会援助金は別会計で管理しており、今年度自動車部会計への繰入は無かった。

平成26年度上期現役支援金決算報告

H25.10.1～H26.3.31

| 収入 | 金額 | 支出 | 金額 |
|----------|----|------|----|
| OB会現役支援金 | | | |
| 受け取り利子 | | | |
| | | | |
| 合計 | | 次期繰越 | |
| | | 合計 | |

平成26年度下期現役支援金決算報告

H26.4.1～H26.9.30

| 収入 | 金額 | 支出 | 金額 |
|----------|----|------------|----|
| 前期繰越 | | エルフ車検代(立替) | |
| OB会現役支援金 | | 部活動援助費 | |
| 受け取り利子 | | OB・現役交流会経費 | |
| | | | |
| | | 次期繰越 | |
| 合計 | | 合計 | |

※エルフ車検代については次期(平成27年度上期)期中に清算予定。

2015 年度 年間活動計画

九州工業大学責善会自動車部

- | | | | |
|-----|---------------------------|------|---------------------------|
| 4 月 | : 新入生勧誘体験入部(カート走行会) | 9 月 | : 大学自動車部合同強化合宿(恋の浦) |
| 5 月 | : 全九州ダートトライアル選手権大会 | | : 部内旅行 |
| | : 5/16-17 ACK スプリングラリー主催 | 10 月 | : 秋季全九州学生ジムカーナ選手権大会 |
| | (JAF 九州選手権第1戦、JMRC 九州 CH | 11 月 | : 工大祭 ⇒11/21-22 |
| | シリーズ第1戦) | | : ACK-KIT ナイトラリー(全九州学生ラリー |
| | : ジムカーナ選考会兼練習会 | | 併催)⇒11/28-29 赤村周辺にて。 |
| 6 月 | : 春季全九州学生ジムカーナ選手権大会 | | : 幹部交代 |
| | : 新入生歓迎会 | 12 月 | : 学内マラソン大会 |
| 8 月 | : 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2015 | 3 月 | : 追出しコンパ |
| | (鈴鹿サーキット) | | |
- 以上

交流会(15 ページ参照)スナップ



第52回 ACK・KIT ナイトラリー詳報

第52代ラリー委員長 福田



2014年11月8～9日に開催いたしました、第52回 ACK・KITナイトラリーが無事終了いたしましたので、報告させていただきます。

昨年度の流星でお伝えしたとおり、今年から開催場所を福岡県に移し、田川郡赤村、添田町、大任町にて移動総距離約120Kmのラリーを開催させていただきました。

今年より、JMRC九州ラリージュニアシリーズがなくなったため、JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ第7戦として開催致しました。前6戦までの参加台数をみて平均参加台数7台と少なく、最終戦ということもありエントラントの方が集まるか心配しておりましたが、17台のエントラントの方が来てくださり大変嬉しく思っております。

当日は、雨の予報が出ており、実際1stステージの中盤より雨が降り出しましたが、大きな事故等も無く、無事に競技の進行ができました。

1stステージでは、赤村、添田町の林道を使用してアベレージ走行を行いました。また、このアベレージ走行中に2ndステージにて行っSSの区間を分間走行で下見をしてもらいました。1stステージは分間走行が

多く間延びしてしまうのではと心配しておりましたが、緊張感が切れることがなかったというご意見をいただき嬉しく思っております。

2ndステージでは、1stステージで使用した林道にて4本のSSと3.6kmのハイアベ区間というSSラリーとアベレージラリーの複合といったステージでした。霧がすごくドライバーの方は苦勞されていたみたいですが、事故等も無く、SSの道は綺麗で良かったとのご意見もいただきました。

今回のラリーを開催するにあたり、場所が変わったこともありわからない事も多くありましたが、役所・警察署等の許可を得ることから競技の設定、当日に至るまで、徳尾三郎さんをはじめとするACKの皆様並びにOBの皆様には全面的協力をいただき、無事に開催することができました。関係者皆様に心よりお礼申しあげます。

来年は第53回となります。来年も今年と同様の場所で開催を予定しております。今年いただいたお褒めの声、お叱りの声を活かし、より良い競技会にしていきたいと思っておりますので、今後とも皆様どうぞよろしく願いいたします。了

エコドライブチャンピオンシップ2014 の報告

日野 (3年)

2014 年8 月25 日(月)鈴鹿サーキットで行われたエコドライブチャンピオンシップ2014に参加してきました。メンバーは杉谷(2 年生)、大久保、今門、日野(以上3 年編入生)、河本、近藤(以上1 年生)です。ドライバーとナビゲータの二人一組でサーキット、チャレンジ、テクニカルの3 つのラウンドをそれぞれ別の車種で走行し、燃費とタイムを点数化した合計点の総合点で競い合いました。

第1 ラウンド:サーキットラウンド

車種:ホンダ CR-Z

ドライバー:日野、ナビゲータ:杉谷

サーキットの本コースを走り6 周目でピットレーンに入り、ゴールでした。

結果は60 チーム中40 位でした。

第2 ラウンド:チャレンジラウンド

車種:トヨタ アクア

ドライバー:大久保、ナビゲータ:河本

サーキットを3 周半した後に外周路へ入り、外周路を走行しパドックへ戻ってゴールでした。

結果は60 チーム中36 位でした。

第3 ラウンド:テクニカルラウンド

車種:日産 リーフ

ドライバー:日野、ナビゲータ:今門

サーキットを2 周した後、パドックへ入り、5 つのイベントを実施し、ピットレーンへ戻ってゴールでした。

5 つのイベントは、1.ボックス 2.幅寄せ 3.空気圧チェック 4.車庫入れ・写真撮影 5.バックスラローム
結果は60 チーム中35 位でした。

総合順位は60 チーム中38 位でした。

競技終了後は片山右京さんのトークショーがあり、貴重なお話を聞くことができました。

OB 会から援助金をいただき、大切にに使わせていただきました。ありがとうございました。

今回、鈴鹿サーキットまで行きエコドライブチャンピオンシップに出場することで大変貴重な経験ができました。OB の方々をはじめ、自動車部のみなさまの協力があったからであると感じています。ありがとうございました。



平成26 年度活動報告(H25/10-H26/9)

OB 会 事務局 中西 (50)

【上期活動報告】(OB 会員敬称略)

- 平成 25 年 10/6 :【平成 25 年(第 7 回)OB 会総会のご案内】(中部地区主催)参加者へ最終資料配付
10/19-25 :OB 会総会パンフ印刷・作成(中部地区)
10/26 :【総会前役員会】”定例総会時役員会審議事項一覧”による
10/26-27 :【平成 25 年(第 7 回)OB 会総会】開催(中部地区主催)
11/9-10 :第 51 回 KIT ナイトラリー現役支援(JAF 公認九州 Jr.シリーズ)
12/15 :流星 25 号発行(武地)
12/30 :餅つき会(現役との交流)

【下期活動報告】(OB 会員敬称略)

- 平成 26 年 5/1 :部活動援助費送金⇒OB 会会計から 145,000 円(武地)
5/17-18 :ACK スプリングラリー(北九州) 2014JAF 九州ラリー第 1 戦開催に OB・現役運営参画
4/10 :【メール役員会】「平成 26 年度上期活動・会計中間報告の件」
6/28 :関東地区 OB 会懇親会(東京駅八重洲北口前/福龍にて)今年度開催 OB 会総会事前打合せ(門司 s37、宮崎 s39、中西 s50、武地 s51、坂井 s52、早田 s54、近藤 s54、計 7 名)
9/21 :【平成 27 年(第 8 回)OB 会総会】(関東地区主催)第 1 回実行委員会開催(キックオフ)(文京区春日/文京シビックセンター学習室にて:宮崎 s39、佐藤(久)s46、武地 s51、坂井 s52、早田 s54、榎本 s54、近藤 s54、松本(寛)h14、計 8 名)
1/11 :関東地区新年会(新橋/鳳龍クラブにて:廣田 s29、木村 s36、佐伯 s36、門司 s37、宮崎 s39、佐藤(久雄)s46、中野(悟)s46、中西 s50、武地 s51、坂井 s52、安永 s52、榎本 s54、石野田 s54、西原 s54、松元 s55、津曲 s59、松本 h14、香川 h23、計 18 名)
3/30 :関西地区懇親会(がんこ京都駅ビル店にて:中原 s39、橘 s40、木庭 s43、田中(直)s45、小泉 s48、山崎 s49、中西 s50、孝橋 s55、三好 s62、計 9 名)
9/21 :第 4 回現役・OB交流会開催/クイズラリー/現役支援活動交流会(九工大 学内)/懇親会(居酒屋)(現役 計 12 名/OB 河野 s49、中西 s50、坂田 s54、山下(能)s54、福田 h3、山下(利)h1、北垣 h22、岩本(裕)h23、石原 h24、計 9 名)
※懇親会から徳尾氏、小川(洋)s59 参加

平成 27 年度活動計画 (H26/10-H27/9)

OB 会 事務局 中西 (50)

【上期】(OB 会員敬称略)

- 平成 26 年
10/5:部活動援助費送金 26,000 円(会計)
10/5:現役交流会費送金 10,000 円(会計)
11/8-9:第 52 回 KIT ナイトラリー現役支援
(JMRC 九州ラリーチャレンジシリーズ第 7 戦)
12/中 :流星 26 号発行
12/30:餅つき会(現役との交流) ㄦ

平成 27 年

- 3/末 :部活動援助費上期分送金
(H26.10.1~H27.3.31 カンパ分)
【下期】(OB 会員敬称略)
9/26-27:平成 27 年(第 8 回)OB 会総会 開催
(関東地区主催)
9/末 :部活動援助費下期分送金
(H27.4.1~H27.9.30 カンパ分))

OB会 26 年度会計報告、監査結果、27 年度予算(案)

OB会 会計 武地 (51)

下表のとおり平成 26 年度会計報告が、メール委員会にて平成 26 年 11 月 10 日に承認されました。

25. 10. 1~26. 9. 30

| 収入 | 金額 | 支出 | 金額 |
|----------|----|----------------|----|
| 前期繰越 | □ | 振替手数料 | □ |
| 会費 | | 現役交流費 | |
| 部活動援助費 | | 流星25号印刷費 | |
| OB会カンパ | | 同 郵送代 | |
| 郵貯からの奨励金 | | 事務費、通信費 | |
| | | 部活動援助費 | |
| | | 総会準備費 | |
| | | 平成27度へ繰越(口座残高) | |
| 合 計 | | 合 計 | |

【解説】 予想の5割増しの会費と、2倍の部活動援助費が集まった。
 部活動援助費を全て現役に送金した。
 結果として、27年度への繰越は約7万円予算計画より増加した。

会計監査報告

会計監査 田中 (45)


会 計 監 査 報 告 書

平成 26 年 10 月 20 日

明専・九州工大自動車部OB会
 会長 木村 □ 殿

平成 26 年 10 月 20 日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する
 帳票・領収書などを精査しました。その結果平成 26 年度の
 決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査 田中 □ 

平成 27年度 OB 会予算

以下の予算案が、メール委員会にて平成 26 年 12 月 8 日に承認されました。

平成27年度予算案

平成26年10月1日～平成27年9月30日

行事

平成26年12月

流星26号発行

平成27年9月

OB総会 *

(円)

| 収入 | 金額 | 支出 | 金額 |
|----------|----|-------------|----|
| 26年度繰越 | | 振替手数料 | |
| 会費 | | 現役交流費 | * |
| 現役部活動援助費 | | 流星印刷費 | |
| OB会カンパ | | 同 郵送代 | |
| | | 事務費、通信費 | |
| | | 現役部活動援助費 | |
| | | 27年度OB総会準備費 | * |
| | | 〔費用小計〕 | * |
| | | 28年度への繰越 | * |
| 小計 | | 小計 | |

OB会 会費、部活動援助費、OB会カンパ振込状況

皆様のご理解ご協力にお礼申し上げます。OB会費は、2年に一度です。その他は毎年募集します。

現役・OB 交流会開催

現役交流担当 山下 (H1)



去る、2014年9月21日(日)、第四回現役・OB 交流会が開催されました。

今回の交流会は、昨年のOB 総会にて承認された「現役支援・交流実施要領」のもと組織した、「現役支援・交流サポート活動隊」の結成式を兼ねて、「クイズラリー大会」・「活動報告会」・「懇親会」の3部構成で実施されました。

クイズラリー大会は、往年の「スカベンジャードライブコンテスト」を模したもので、九工大スタート・ゴール、宗像大社レスコンで行いました。クルーはOBと現役の混合チームとし、5チーム(5台)が出走しました。車中では、OBの方々の実践的な指導が行われたようで、全車無事完走しました。OBの方々には懐かしく、また現役部員には、新鮮に映ったようです。準備に尽力してくれた現ラリー委員長の福田君に感謝いたします。

活動報告会では現役およびサポート活動隊各々から、本年度の活動内容について報告がありました。現役の活動報告では、全日本学生自動車連盟主催の全日本エコドライブチャンピオンシップ(P10参照)の参加報告がありました。九工大自動車部は今年初めて参加しましたが、60チーム中39位の成績でした。来年以降も継続して参加することを検討しており、サ

ポート活動隊も全面的にバックアップしたいと考えています。

サポート活動隊の報告では、サポート活動隊の取り組みの実績と今後の計画、「活動援助金制度」の運用について報告がありました。

最後の懇親会は工大前の居酒屋に場所を移し、にぎやかに行われました。懇親会には徳尾特別顧問の参加も戴き、現役とOB、お互いの親睦を深め大いに盛り上がりました。

サポート活動隊の体制が確立したこともあり、今後は活動隊をメインに継続的な現役支援を行なっています。

今回の概要は、以下の通りです。

(第一部) 【OB・現役交流 クイズラリー(スカベン)】

1. 日時 平成26年9月21日(日)
9時30分～15時30分
2. 集合場所 九州工業大学 自動車部車庫
(西南門テニスコート横)
福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1
3. 走行区間 九工大→響灘エコタウン→
岡垣町→宗像大社→岡垣町→九工大 約100km
および 2ステージ、7CP(内、秒計CP1箇所)、2SS
4. 参加台数 5台

(第二部) 【現役支援・交流サポート活動隊 結成式 およびOB・現役 活動報告】

1. 日時 同日 16時～17時
(クイズラリーゴール後、表彰式に引き続き開催)
2. 場所 総合教育棟 C-2E
3. 議題 (1)自己紹介(現役・OB)
(2)活動報告(現役・OB)
(3)現役支援・交流サポート隊について(OB)
(4)意見交換

(第三部) 【懇親会】

1. 日時 同日 19時～21時
2. 場所 焼鳥 本丸(工大前)

(参加者)

徳尾 特別顧問^{※3部～}

(OB)河野(S49)^{※2部～}、中西(S50)、坂田(S54)、山下(S54)、小川(S59)^{※3部～}、山下(H1)、福田(H3)

^{※夫人同伴}、北垣(H22)、岩本(H23)、石原(H24)

(現役)渡辺(6回生)、坂元(5回生)、福田(3回生)、池田(3回生)、漆原(3回生)、杉谷(2回生)、平田(2回生)、吉岡(2回生)、日野(1回生)、今門(1回生)、大久保(1回生)、河本(1回生)

現役交流担当より物品援助のお願い

下記の物品について、不要な物がございましたらお譲りください。

- ・フィギュア練習用車両(小型乗用(5ナンバー)、普通乗用(3ナンバー)、小型貨物(2t車))^{※廃車済み}のものでも、廃車予定のものでも構いません。
- ・書庫・書棚(スチール製キャビネット)
- ・折り畳みテーブル(会議用)
- ・プロジェクタまたは液晶モニター・テレビ(30型～)
- ・ホワイトボードまたは黒板
- ・整備用工具類など。

連絡先:現役交流担当 山下(H1)

現役支援・交流サポート活動隊について

現役交流担当 山下(H1)

本年度の現役・OB 交流会は、「現役支援・交流サポート活動隊」の旗揚げを兼ねて開催いたしました。交流会の中で実施した「クイズラリー大会」は個人的には、是非ともやりたいイベントの一つでした。

現役部員達は、今年もKIT ナイトラリーを開催してくれました。KIT ナイトラリーは、九州では唯一のAベレージ走行主体のラリー競技会です。また、唯一のナイトラリーでもあります。ところが、そのKIT ナイトラリーを主催している現役部員達は、ラリー経験が殆んど無いのです。

ご存知のとおり、近年、国内のJAF公認ラリー競技会は、スペシャルステージ(SS)を主体としたスポーツ性の高い競技形態が主流となっています。また、シリーズ戦もイベント数が減少し、九州でもジュニアシリーズが事実上、廃止されてしまいました。現役部員達が気軽に参加できるラリー競技会が無いのです。

過去の自動車部(小生が在籍していた昭和59年～

平成元年)では、年間10戦ほど部内ラリーを行っていたと思います。部内ラリーを通じて、先輩部員よりスカベンや計算ラリーの基礎、そしてオーガナイズのいろはを学ぶことができました。

しかしここ数十年、母校自動車部は部員数の減少や部員を取巻く環境の変化などによって、部活動が停滞し、色々な活動が無くなってしまっています。そして現在、KIT ナイトラリーの開催だけが辛うじて継続している状況です。自動車部関係者の間ではKIT ナイトラリー主催継続の是非が議論されることもありますが、JMRC九州からは、2、3年後に九州ラリー選手権シリーズに昇格させて頂けるようなお話も頂いていますし、OBとしても出来る限りサポートを行い、継続させて行きたいと思っています。そのためには、現役部員にもっとラリーに興味を持って貰うための活動が必要と考え、その手始めとして、昨年より部内クイズラリーの開催の準備を進めており、今回の交流

会で開催することができました。今後とも、ラリーの啓発活動を行って行きたいと思います。

母校自動車部はここ十数年、部活動が停滞していたため、昭和40年代～平成初期の歴代の行事や競技の継承が上手くできているとは言い難い状況です。それは、フィギュアに関しても同じような状況です。学生自動車連盟のフィギュア大会は、十数年前から全九州大会が休止となっており、競技会としてのフィギュア経験者は現役部員どころか、ここ十数年のOBにも皆無です。しかし、全日本大会は毎年継続して開催されています。また、エコドライブチャンピオンシップの競技中にもフィギュアの要素が採り入れられているため、上位を狙うには、フィギュアの練習が必要です。現役時代、フィギュアの練習が盛んであった、昭和40年代～平成初期のOBの協力を頂き、フィギュアの技術強化を図れないかと考えています。また、学内(車庫前)でフィギュアの練習をすることによって、学校側や一般の学生に対し、自動車部の部活動をアピールすることが出来ると思います。

過去自分たちがやってきたことを現役部員にさせようとする事はアナクロであるとの批判もあると思います。しかし、歴代の行事や競技の継承が上手く行っていない今、また、現役部員がこれといった新しい部活動の方向性を見出せていない以上、歴代の行事や競技を現役部員に伝える事は、先輩部員として、OBとしてのやらなければならない事だと思っています。現役部員に色々なアイテムを提示し、彼らに自主的に取捨選択させたいと考えています。

OBは、彼らが間違った時、彼らが迷った時、正し、導いて行ければ良いと思います。部活動の主役は、あくまで現役部員なのであります。

今後とも「現役支援・交流サポート活動隊」の活動にご参加とご協力をお願いいたします。

自動車部現役・OB交流会への出席

中京支部 河野 (S49)

現在、明専会理事を担当しており、9月21日(日)に分科会に出席する予定でありました。OBの山下利彦さんから、九州工大近郊で、スカベンジャーラリーを開催し、その後で、現役の方との交流会と懇親会を行うとの連絡があり、喜んで、出席させて戴きました。中西さんや山下さんはじめOBの方々が、自動車部の活動や部員数を心配され、定期的な支援や交流をされているのは、伺っていました。

まず、スカベンジャーラリーは、和気藹々の雰囲気の中で、新部員含め、楽しんで、ラリーの基礎を学んだ様子でした。

活動報告の中で、新たに、今年、鈴鹿サーキットでのエコ運転競技に、参加をし、ある成果を上げ、今後も、継続的に、参加する意向とのこと。また、フォーミュラークラブとの協業を模索しながら、試行している。フォーミュラーは、全日本フォーミュラー大会(静岡

県)が開催され、脚光を浴びている。

しかし、伝統のある自動車部の活動は、OBの方々の支援を受けながら、地に着いた活動を行っていることを感じました。

その後懇親会へ参加し、現役の1年生～院生の方とお話をし、楽しい会食ができました。新入生7～8名が入部され、活気を感じました。喜ばしい事です。

また、自動車部の部員が、50年に渡り、お世話になっている、徳尾三郎さんが懇親会に出席をされ、懐かしく、お話が出来ました。偶然にも、当日、三郎さんの誕生日であり、傘寿のお祝いをする事が出来ました。

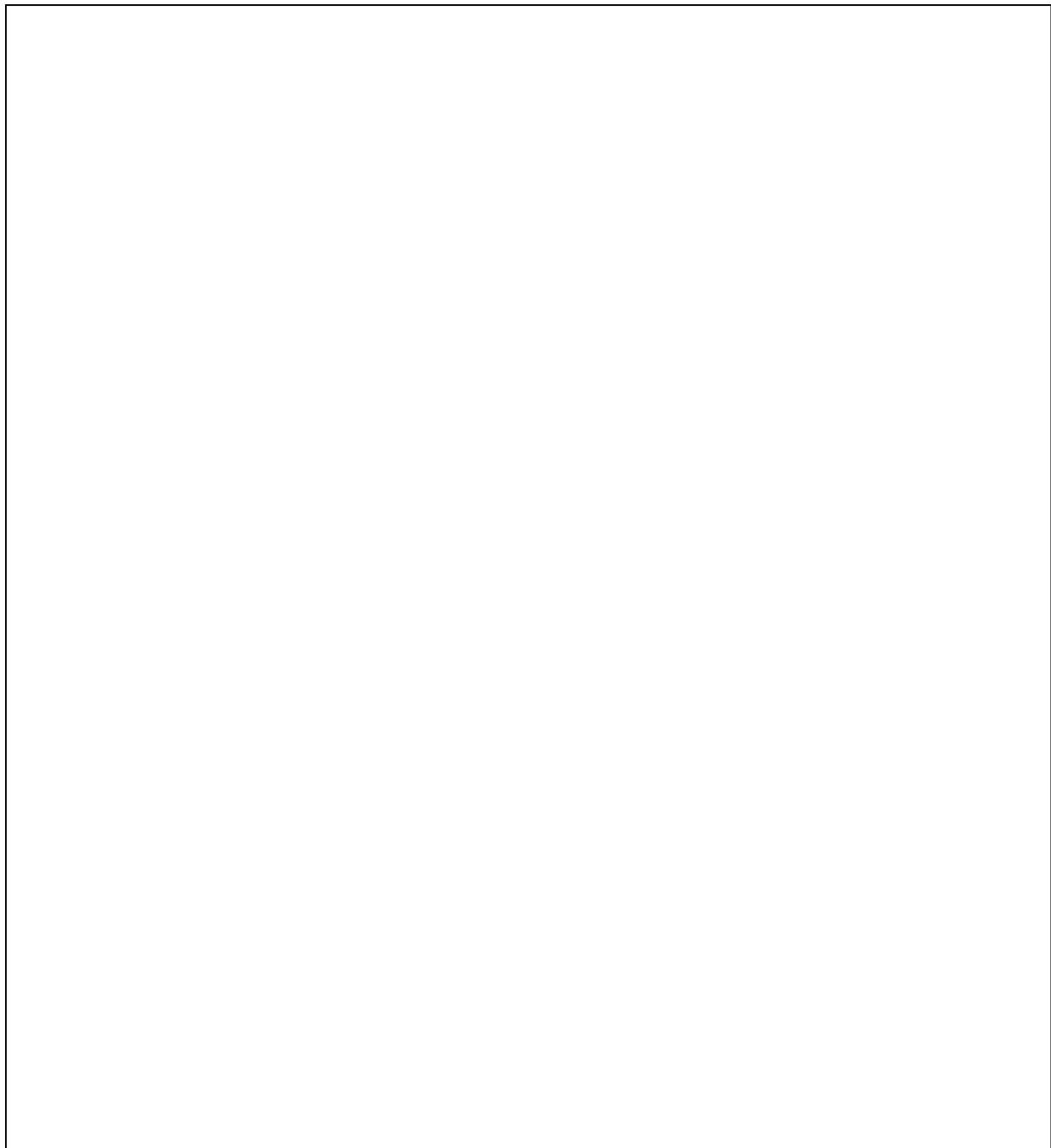
今回は、偶然が重なりましたが、貴重な時を過ごさせて戴きました。今後とも、双方向での繋がりを持ちながら、OBとしての支援を行って行きたいと思いません。

- 会員名簿 -

会員名簿は個人情報になりますので、お取扱にご注意をお願いします。

住所が空欄の方は、連絡方法がありません。お知り合いの方が居られましたら、ご本人様に、流星担当 武地 (最終ページに住所、Email アドレス掲示)に連絡いただこうお伝え願います。住所は、流星の配布やOB会からの連絡に使います。住所の記録がある方でも流星が返送されます。皆様も連絡先変更をご連絡いただくと幸いです。また、掲載を希望されない方はお申し出下さい。本表から削除します。

| |
|--|
| |
|--|



【編集後記】

今年も自然災害の多い年でした。そして、頻度が増えているように感じます。

2月の大雪、台風や局地的な集中豪雨、竜巻、御嶽山の噴火、長野県北部での地震、そして昨日(11月25日)から阿蘇山が噴火を始めたようです。根拠が有るわけではないですが、私には、地球が怒っているように感じられます。我々は、便利さのためにエネルギーをどんどん使う生活を改め、地球の温暖化を防ぐ意識と努力を一人一人が持たなければと思う次第です。(武)

発行日 平成26年12月15日
発行者 九州工業大学責善会自動車部
主将 吉岡
明専・九州工大自動車部OB会
会長 木村
編集者 武地(51)
口座番号

明専・九州工業大学自動車部 OB 会
九州工業大学責善会自動車部